

いくぞう通信

議会レポート

No.26号

2020年9月議会報告

後援会事務所 栃木市岩舟町古江 792
TEL・fax 0282-55-8776
携帯 090-9010-7042
Eメール i-hary@cc9.ne.jp

あなたの相談相手、
気軽にお電話ください。
栃木市議会議員 針谷育造

質問1・サッカースタジアムについて

栃木市大丈夫なのか？ 危機的です！

法令・条例を無視、市民説明もない市長たち

民間企業のスタジアム使用料・年1300万円・・・無料

固定資産税・年200～300万円・・・無料

10年間で1億5～6千万円・・・免除 許せますか？



針谷「この議会で政策論争が出来なくて残念だ。「栃木市大丈夫なのか」の危惧を持っている。法令順守の欠

如、正規な事務手続き無視、説明責任の放棄、それを見過ごす一部幹部職員、市民にとって悲劇である」

スタジアムは違法な貸し付けでないのか？

針谷「①行政財産は貸し付け出来ないのが原則で、地方自治法に違反した貸付でないのか、②議会議決をすべきである。③法令違反で無効でないのか」
小保方部長「①行政財産の貸し付けではない。公園条例に基づき公園施設と

なる許可を出しているなので違法でない。②議決の必要性はない、③この行為は無効でない」

針谷「承知できないが、このスタジアムは、市民に貸し出せるのか？」答弁なし

渋江建設部長「民間が進める運動施設で、行政財産です」くい違いの答弁有り。

針谷「スタジアムは誰の所有になるのか」…答弁なし

無料で使わせることを 市民は納得するのか？

針谷「なぜ無料なのかの説明を」

小保方部長「地元からの要望と、もともと地元のチームであるので、できる限りの支援をしたいと考え覚書も結んだ。せっかくスタジアムを作ってくれることに対し、市として出来ることをしている」

針谷「そんな情緒的なことで市の仕事を進めていいのかと、6月議会で言ったが、法的に無料にできるのか」

小保方部長「支援のために10年間負担を求めないことを覚書で決めている」

市民への説明責任は、市長の仕事でないのか！

市長「説明は議会に十分した 決まったら説明します」

針谷「決める前にするのが説明責任で、事後は報告でないか」

市長「これは広報で知らせました」

針谷「いつの広報なのか見た記憶はないが」

市長 確認後「載せていません。決まったら載せます」と、お詫びする。

針谷「それは報告

で説明ではない。部長会議では公表しない方針でないの」・ウソはダメ



一民間企業への貸し付けのためだけの

公園条例は、改正(改悪)された

針谷「覚書の前に、なぜ3月議会で改正しなかったのか」なぜ、民間企業のために条例改正するのか。『有ったものを無かったことにする条例改正は』は、認められない」

渋江建設部長「県との協議で、前例がないので判断が遅れ9月提出になったことを、お詫びします」

賛成議員と議会は、条例改正を市民に説明する責任が有ります

この議案に反対したのは、白石幹男、川上均、内海まさかず、茂呂健市、

針谷育造だけであり、他の議員は賛成した。なぜ賛成したのかの説明は必定。

質問2・新型コロナウイルスと一斉休校について

3月2日安倍前総理の一声で一斉休校は始まった。全国の学校がこれを受けて栃木市も5月31日まで休校した。この間教育委員会の混乱はあったが、自宅学習や学童保育で乗り切った。前代未聞の対応に市内

の小中学校では、大きな問題も無く進められたようだ。しかし教育委員会の休校決定は政府、市当局の意向が前面に出て、教育委員会の主体性はあまり感じられなかった。

質問3・思川開発について

この事業が始まり56年が過ぎ、いよいよ県は「南摩ダムの水を買わせよう」と13年前の2007年県南広域的水道事業協議会を作り、栃木市、壬生町、下野市に押し売りし、飲ませようと動き出した。各市町の良識ある人たちが、「豊かな地下

水は宝です将来に残そう」と市民運動が大きく広がっている。県も3市町も身動きとれない状態です。しかし、「権力は死んだふりしながら、突然、無理難題を押し付ける準備を怠らないのが常です。油断は禁物。高くてまずい水はいらない。

計画は山の麓にいる状態・・・見通しは立っていません(小保方部長)

針谷「計画案では大幅に遅れているが、今の状況はどのようになっている」

小保方部長「県でも調査等が行われているので、市として具体的な検討できない」

針谷「今後の見通しは」

小保方部長「現時点では県からの計画同意要請も無く、市として意思決定のための検討の見通しは立っていません」

針谷「関係市議会の同意の見通しは」

小保方部長「具体的に市民の皆様にお知らせする段階ではなく、分かり次第

丁寧に情報を提供して意思決定を行います」

針谷「富士登山に例えれば、今どの位置にあるのか」

小保方部長「思川開発給水計画は『富士山の麓にいる』状況です」

針谷「市長の考えは」

市長「良質で豊かな地下水は、栃木市の宝で、誇りです。暮らしの根幹として大切に次世代へ引き継ぎます」

質問4・コロナと市幹部の懇親会について

針谷「7月28日のコロナ本部会議で『収束した』とは、なにが根拠なのか。それを口実に28日の懇親会をやったのか」

藤田保健福祉部長「国の緊急事態宣言が解除され、市でも1か月新規感染者が無いことから一時的に収束したと判断した」

針谷「全国的には第一波を超える第2波の最中であり、収束の表現はいかがなものか」

藤田保健福祉部長「一波の2倍以上の感染者が、全国で急激に増加しているとの認識です」

市民には「自粛を呼びかけていながら、市長を含めた部長会の懇親会 矛盾はないか？」

南斉副市長「市職員に一律に会食等を禁止していることはない。台風被害、コロナの対応の長期化が予想されるので、業務後の会食は感染防止に努めたうえで試みるべきと考えている。3役も出席した。市民の批判

もあつたが、適切に利用された。市税収入も落ち込むことが危惧されている。2,3回飲みに行ったが8時30分過ぎにはお客は誰もいない」



市長「懇親会は誤りでなかった」…市民は呆れている

針谷「経済効果はどれくらいあるのか、PCR検査も積極的にやるのが先で、会食はその後のことである。下野新聞の『誤りでな

い市長報道の真意』はどこにあるのか」
市長「副市長答弁の通りで、県の通知以前なので問題ない。市として応援したい」

9月決算議会終わる…問題だらけの議決であった

8月28日から9月28日までの32日間、9月決算議会が開かれ、2019年度一般、特別会計決算、条例の一部改正

補正予算を可決して閉会した。詳しくは議会広報等ご覧ください。

成長する子供の健康被害と学力低下はないのか？

校内に張り巡らせる電磁波のシステム障害？

小中学生にタブレット導入で8億9705万円



タブレット

コロナで急にICT教育予算が国から流れてきた。すでに6月の予算を合わせると15億9848万円の巨額となる。子どもの電磁波による障害は全く話題にされてない。先進諸国では成長期の子供たちのために規制が厳しく決められている。日本でも心配の声はあるが、文科省は全く無視している。

さらにICT教育は子供の学力低下を招くとの報告もある。教育が大きく変わること、子供の成長に障害が出れば元も子もなくなる。健やかな環境を作るのは市の仕事で、子供の健康被害を未然に防ぐのも行政の仕事です。

新型コロナによる学校給食の民間委託…決裁文書もない違法行為

コロナによる栃木第4小学校の調理員を職場から排除する異動問題は、人権侵害を認め市は撤回した。しかし9月議会で調理の民間委託予算が計上された。やはり言葉だけの反省であったことが証明された。これを決めた決裁文書もない。民間委託した方が「突然のアク

シデントに対応がスムーズにできる』との説明は、理論が逆さま、本来の仕事を放棄し、理屈をこねるあまりにも身勝手な理論に呆れる。行政の責任が分かっているのか。しかも莫大な経費の増額になる。「最小の経費で最大の効果を上げる」考えは、栃木市にない。

民間委託で年間6691万円、今より2500万円の増

委託料年間2500万円、現在の職員の人件費4191万円、合計6691万円となる。

結局民間委託すれば6691万円の支出は10年ほど続き、経費の削減にならない。民間委託の最大の売りは経費削減であるが、これとも矛盾する。理論の破綻は誰の目にも明らか

だ。2重の誤りをやっても平気な顔をしている当局とそれを認めた議員は何を考えているのか。議会のチェック機能は死んでしまったのか。議員各位の猛省を促す。議会改革の「1丁目1番地」であるのに知らん顔はダメです。

栃木市は今、安倍、菅政権と同じ「命令と服従」・パワハラ防止のポスターが泣いている

今の職場は、「無理が通って、道理が引っ込む」ように見える。真面目な公務員はやる気をなくす。上司に「忖度」が出世の道と勘違いし、市民を忘れる。あってはならない。採用され

たときは法を守り、全体の奉仕者として、市民に尽くす宣誓書を読み上げた筈である。自分の良心に従い、市民のために働くことこそ本来の姿。頑張れ職員。

